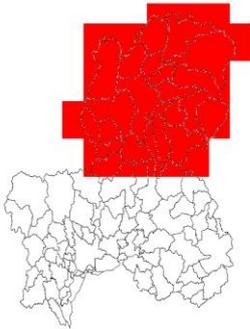


ホザキイチヨウラン	<i>Malaxis monophyllos</i> (L.) Sw.	絶滅危惧 I 類
		ラン科
選定理由	生育地に限られていて個数も少ない。園芸目的の採取圧がある。	<p>写真(清水英彦)</p>   <p>※生育地保全のため、広範囲の分布図を表示しています。</p>
形態の特徴	高さは15-20cm。葉はふつう1枚で広卵形。花は淡緑色。小さな花を穂状に多数つける。唇弁が上になることが多い。花期は7-8月。	
生態的特徴	標高に高い山地の針葉樹林やブナ帯の樹林下に生育する。	
分布状況	北海道、本州四国に分布する。岐阜県では飛騨地方に分布する。	
減少要因	園芸目的の採取による。	
保全対策	採取の禁止。分布情報を公表しないことが望ましい。	
特記事項		
参考文献		

文責:山崎玲子